



第 103 号

発行人
 (一財) 福井県剣道連盟
 会長 片山 外一

事務局
 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
 サンライズニの宮 1-B
 TEL・FAX (0776)28-6616
 メール fkikendo@herb.ocn.ne.jp

**男子は金子亮介選手が初優勝
 女子は大西ななみ選手が連覇
 福井県知事杯第十六回福井県剣道選手権大会**

令和元年七月十五日(月祝)
 於 福井県立武道館

七月十五日に福井県立武道館で開催されました「福井県知事杯 第十六回福井県剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

男子は金子亮介選手(県警察)が初優勝、女子は大西ななみ選手(学剣連)が二年連続二回目の優勝を飾りました。



優勝した金子亮介選手と大西ななみ選手

男子の部優勝の金子選手は十一月三日に大阪市中央体育館で開催される第六十七回全日本剣道選手権大会、女子の部優勝の大西ななみ選手は九月八日ホワイティング長野市真島総合スポーツアリーナで開催される第五十八回全日本女子剣道選手権大会の福井県代表選手として、それぞれ考えられました。



白熱した試合の模様



片山外一会長から激励のご挨拶



東村健治県教育長からご祝辞をいただく



仲倉典克県議会議員からも激励の言葉をいただく

○男子の部

- 優勝 金子 亮介 (県警察)
- 二位 林田 匡平 (学剣連)
- 三位 前田 浩由 (県警察)
- 三位 内藤 洋 (県警察)

○女子の部

- 優勝 大西ななみ (学剣連)
- 二位 堤腰 琴菜 (敦賀地区)
- 三位 川端 心愛 (南条地区)
- 三位 八幡 明依 (福井地区)

福井県剣道連盟 理事会・評議員会

福井県剣道連盟の理事会が五月九日(木)に、評議員会が五月十九日(日)に開催され、平成三十年度の事業報告、収支決算について審議がなされました。

この中で、昨年開催された福井しあわせ元気国体に向けて、平成二十五年から平成二十八年までおよび平成三十年度の五年間にわたり、会員の皆様にご支援をお願いしました「平成三十年第七三回国民体育大会福井大会剣道競技 特別協力資金」について、延べ一五九〇名から九百五十万円余りのご寄付をいただいたことが報告されました。

〈福井国体特別協力資金内訳〉

年度	寄付金額	寄付延べ人数
平成25年度	1,597,920円	344名
平成26年度	2,066,000円	321名
平成27年度	2,061,000円	333名
平成28年度	1,704,000円	312名
平成30年度	2,095,000円	280名
合計	9,523,920円	1,590名

会員の皆様には、諸費ご多端な折にもかかわらず、趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りましたこと深く感謝申し上げます。

大会報告(行事報告)

2019年度全国健康福祉祭 ねんりんピック剣道交流大会 福井県予選会

平成三十一年四月七日(日)
於 福井県立武道館

本年十一月に開催される「第三十二回全国健康福祉祭とやま大会 ねんりんピック」の国わかやま2019」出場選手の予選会が、四月七日に福井県立武道館で行われました。



その結果、次の方々が十一月九日から十二日まで和歌山県白浜町で行われるねんりんピック大会に出場されます。

- 監督 小西 清光 (三方地区)
- 先鋒 上嶋 啓芳 (敦賀地区)
- 次鋒 前田 宗昭 (敦賀地区)
- 中堅 瀧口 正之 (福井地区)
- 副将 吉田 淳夫 (三方地区)
- 大将 小西 清光 (三方地区)

第18回宮本武蔵顕彰「お通杯」 女子剣道大会福井県選手選考会

平成三十一年四月七日(日)
於 福井県立武道館

本年十月に開催される「第十八回宮本武蔵顕彰「お通杯」女子剣道大会」の福井県選手選考会が、四月七日に福井県立武道館で行われ、次の方々が十月二十日に岡山県美作市で開催される本大会の出場を決めました。



- 団体戦
- 先鋒 安原 真紀 (坂井地区)
- 中堅 小寺みゆき (坂井地区)
- 大将 谷口 典子 (越前地区)
- 個人戦 常盤真依子 (大飯地区)

平成三十一年度 福井県 高等学校春季剣道選手権大会

平成三十一年四月二十一日(日)
於 敦賀市中郷体育館
四月二十一日に敦賀市中郷体育館において開催されました「平成三十

一年度 福井県高等学校春季剣道選手権大会」の試合結果は次のとおりです。

○男子団体

- 優勝 敦賀高校
- 二位 丸岡高校
- 三位 敦賀気比高校
- 三位 福井工大附属福井高校



○女子団体

- 優勝 福井工大附属福井高校
- 二位 敦賀高校
- 三位 美方高校
- 三位 丸岡高校



第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会

平成三十一年四月二十九日(月祝)
於 エディオンアリーナ大阪
四月二十九日にエディオンアリーナ大阪において開催されました第67回全日本都道府県対抗剣道優勝大会の試合結果は次のとおりです。

○試合結果

1 回戦

福井県 1 / 1 - 2 / 2 宮城県	中村	山神
前阪	稲垣	
富田	壽賀崎	
林田	葛西	
鹿本	松本	
脇本	岡西	
堀江	玉浦	

○出場選手

- 監督 柳原潤一郎 (福井地区)
先鋒 中村翔太郎 (敦賀高校)
次鋒 前阪 樹宏 (福井工業大学)
五将 富田 成慈 (鯖江市)
中堅 林田 匡平 (福井地区)

- 三将 鹿本 裕登 (県警機動隊)
副将 脇本 一誠 (福井地区)
大将 堀江 範雄 (坂井地区)

令和元年度 春季高等学校総合体育大会剣道競技大会

令和元年五月三十一日(金) ~ 六月二日(日)

於 福井県立武道館
五月三十一日から六月二日まで福井県立武道館において開催されました「令和元年度春季高等学校総合体育大会剣道競技大会」の試合結果は次のとおりです。

○男子団体

- 優勝 敦賀高校 (2年連続19度目)
二位 丸岡高校
三位 福井工大附属福井高校
四位 北陸高校



○女子団体

- 優勝 敦賀高校 (4年連続9度目)
二位 美方高校
三位 丸岡高校
四位 福井工大附属福井高校
※優勝校はインターハイ出場
四位まで北信越総体出場

○男子個人

- 優勝 中村翔太郎 (敦賀高校)
二位 西澤 朋希 (北陸高校)
三位 植村 啓吾 (敦賀高校)
四位 中村 俊貴 (丸岡高校)
五位 木村 太郎 (福井工大附属福井高校)
五位 明賀仙太郎 (福井工大附属福井高校)
五位 中村龍之介 (敦賀高校)
五位 志尾 陽章 (藤島高校)



○女子個人

- 優勝 奥村 莉菜 (美方高校)
二位 松井 実唯 (敦賀高校)
三位 川端 心愛 (啓新高校)
四位 梅原 陽乃 (敦賀高校)
五位 竹村 真弥 (福井工大附属福井高校)
五位 北島 楓果 (丸岡高校)
五位 福井 星那 (福井工大附属福井高校)
五位 谷田 和奏 (丸岡高校)
※優勝二位はインターハイ出場
五位まで北信越総体出場

第57回北信越高等学校剣道大会

令和元年六月十四日(金) ~ 十六日(日)

於 長野市真島総合スポーツアリーナ
六月十四日から十六日に長野市真島総合スポーツアリーナにおいて「第57回北信越高等学校剣道大会」が開催され、男子団体で敦賀高校が三位、女子個人では福井星那選手 (福井工大福井高校) が二位、梅原陽乃選手 (敦賀高校) が三位に入賞しました。

また、団体の部で中村翔太郎選手 (敦賀高校)、福井星那選手 (福井工大福井高校) が優秀選手に選ばれました。
試合結果は次のとおりです。

○男子団体

予選リーグ
敦賀 4勝0敗

丸岡 (決勝トーナメントへ)
1勝1敗1分
(予選リーグ敗退)

福井工大福井 0勝4敗
(予選リーグ敗退)

北陸 1勝2敗1分
(予選リーグ敗退)

決勝トーナメント
準々決勝 敦賀1-0金沢市立工業
準決勝 敦賀1-1新潟商業
(本数勝ち)

敦賀 三位



○女子団体

予選リーグ
敦賀 2勝1敗1分
(予選リーグ敗退)

美方 1勝2敗1分
(予選リーグ敗退)

丸岡 1勝2敗1分
(予選リーグ敗退)

福井工大福井 2勝2敗
(予選リーグ敗退)

優秀選手

男子 中村翔太郎 (敦賀)

女子 福井 星那 (福井工大福井)

○男子個人
ベスト8 中村翔太郎 (敦賀)

○女子個人

二位 福井星那 (福井工大福井)

三位 梅原陽乃 (敦賀)



第32回福井県居合道大会兼
全日本居合道大会選考会

令和元年六月十六日(日)

於 越前市武道館

梅雨空の中、標記大会が開催され

ました。午前九時半から開会式が始まり、玉村居合道部長が開会の挨拶を行い、大会が三十二回を迎え、選手層の拡大並びに会員の益々の尚武を願う挨拶をしました。開催地の越前市剣道連盟、藤岡文男会長も来賓としてご挨拶を頂き「技能向上は素直な気持ちで指導を受けること」：日頃の稽古の在り方の大切さを説示されました。角裕幸審判長から試合上の注意に合わせ、当日の指定技が発表され、試合に移りました。

団体戦は、五チームのトーナメント戦を行い、技の正確さ、心の落ちつき、気迫、目付、気剣体の一致、残心などを着眼点として、六分以内に指定技が間違わずに演武できているか技前を競いました。

個人戦に入る前、入門五カ月の秋元崇志さん(三国)が、自由技を五本演武して、初段並みの稽古の成果を示し、拍手を浴びていました。

団体戦に続いて、個人戦が行われ、三段から六段まで段別トーナメント戦が行われ、結果は次の通りでした。



団体戦

優勝 越前市剣道連盟Cチーム

(楠 敬宣、鎌田真之、大嶋雅典)

次勝 越前市剣道連盟Bチーム

(田中恒夫、平山 聡、松本敏夫)

個人戦

三段の部

優勝 中川 開人 (福井市)

二段の部

優勝 斎藤 聖也 (福井市)

一段の部

優勝 長谷川翔平 (勝山市)

初段の部

優勝 大嶋 雅典 (越前市)

初段の部

優勝 角 裕幸 (越前市)



第53回福井県少年剣道錬成大会

令和元年六月三十日(日)

於 福井県立武道館

本大会は、福井県内の少年少女剣士達が同武道館に一堂に会し、個人戦では、四年生以下の部(七十五名)・五年生以上の部(百五十八名)に分かれて行われた。選手全員が日ごろの成果を十二分に発揮できるところにと頑張っていた。

団体の部においては、男子の部(41チーム男女混合含む)・女子の部(13チーム)の二部門が行われた。試合結果については、次のとおり。

団体戦 男子の部

優勝 福井養正館

準優勝 木田剣道スポーツ少年団

第三位 越前少年剣道クラブ

同三位 鯖江志士樹館道場



団体戦 女子の部

優勝 新風館愛宕坂道場

準優勝 松岡少年剣道教室
第三位 丸岡剣道スポーツ少年団
同三位 福井養正館



個人戦 四年生以下の部

優勝 元井 颯汰(福井養正館)

準優勝 岩崎 吏生

(越前少年剣道クラブ)

第三位 熊谷 薩馬

(気山剣道教室スポーツ少年団)

同三位 岸本 好誠

(武生南剣道スポーツ少年団)



敢闘賞 荒川 祥慶

(福井東部少年剣道教室)

敢闘賞 脇本 寛大

(新風館愛宕坂道場)

敢闘賞 佐々木海緒(福井今立道場)
敢闘賞 崎元 煌太(福井養正館)
個人戦 五年生以上の部
優勝 矢田部 暁

(越前少年剣道クラブ)

準優勝 伊藤児太郎

(木田剣道スポーツ少年団)

第三位 下 寛人

(丸岡剣道スポーツ少年団)

同三位 伊藤 彬

(王子保スポーツ少年団剣道部)

敢闘賞 吉田 幸器 (五常館)

敢闘賞 山下 心優

(鯖江剣道スポーツ少年団)

敢闘賞 前田 恭吾(福井養正館)

敢闘賞 堀 登真

(鯖江剣道スポーツ少年団)



なお、五年生以上の部において、

ベスト八に入賞した選手は、全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会(小学生の部)第三次選考会に進出し、上位五名は大阪において開催される同大会(小学生の部)に福井県代表選手として出場する。

全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会出場選手選考会

令和元年七月六日(土)

於 福井県立武道館

一位 矢田部 暁

(越前少年剣道クラブ)

二位 伊藤児太郎

(木田剣道スポーツ少年団)

三位 下 寛人

(丸岡剣道スポーツ少年団)

四位 堀 登真

(鯖江剣道スポーツ少年団)

五位 伊藤 彬

(王子保スポーツ少年団剣道部)

六位 山下 心優

(鯖江剣道スポーツ少年団)

七位 前田 恭吾(福井養正館)

八位 吉田 器幸 (五常館)



福井県居合道講習会の開催

令和元年七月十四日(日)

越前市武道館 剣道場

熱中症が懸念されるような蒸し暑い梅雨の日、福井県居合道講習会が開催されました。講師に石川県剣道連盟から、全剣連居合道委員の範士八段中村正人先生と、教士七段松原剛先生をお迎えしました。

九時半から開講式があり、最初に西川譲常務理事から開講の挨拶があり、中村先生から今年度の居合道東日本地区講習会に続いて来年「全日本居合道大会」が石川県で開催され、強化稽古を行う。この中に福井県からも参加して頂きたいと、ありがたい挨拶がありました。

実技に先立ち、約二十分、中村先生の講義がありました。居合道は目の前にいない相手と相対し、切るか切られるかの緊張感を強いられる武道である。その中で気の抜けない居合を抜くための留意点についてお話しされました。特に超スローモーションで動きを止めない稽古法とフリーストモード稽古との重要性を説明され、後の実技で始めから終わりまで実施されました。

十三名の講習生は、超スローモーションで基本通りの抜き方を確認しながら十二本の全剣連居合を抜きま

した。これは思いのほか、筋力を必要とし、相当疲れる稽古でした。普段繰り返し稽古することが少ない「礼法」も我流になつていないか、繰り返し復習しました。

記 居合道部会 玉村伸治



地区連盟だより

第五回日野川の合戦を開催

平成三十一年四月二十一日(日)

於 越前市日野川河川公園
平成も押し詰まった四月二十一日



(日)に恒例となつた 越前市剣道連盟主催事業「日野川の合戦」が越前市の日野川河川公園 芝生広場で開催されました。午前九時から開会式が、小学生六八名、中学生五六名に一般会員三六名が勢ぞろいした中、藤岡文男会長の挨拶で始まりました。奈良越前市長、宮本スポーツ少年団本部長の来賓挨拶に続いて、感謝状の贈呈がありました。これは、本大会の東西合戦の総大将が着用する「陣羽織」二着を製作してくださった野辺寛之氏と材料になる大札紙という和紙を提供して下さいました石川製紙株式会社に対してです。

第一部の東西入り乱れての風船割集団合戦から始まり、低学年は数人が一人の会員に掛かる紙風船割の団体競技と進みました。

しばらくの休憩の後、お待ちかね優秀剣士「認定書」を争奪する個人戦の開始です。小学生は四年生以上男女混合トーナメント戦、中学生男

女別トーナメント戦の三ブロックに分かれて行われました。小学生は一分半の試合時間で取得本数が多いほうが勝ちとする試合です。太鼓の合図で二試合場同時に進行し、準決勝からは三本勝負となりました。小学生の部では、五回目にして初の女子優勝者が出ました。試合結果は次の通りです。

小学生高学年の部

- 優勝 森谷 栞帆 (王子保)
- 二位 山本 紀仁 (王子保)
- 三位 山口 範登 (今立)

中学生男子の部

- 優勝 吉村 勘汰 (六中)
- 二位 松坂 僚太 (六中)
- 三位 藤原匡之介 (今庄)

中学生女子の部

- 優勝 小谷 奏夢 (一中)
- 二位 藤井 奏香 (六中)
- 三位 師田 萌花 (一中)

記 玉村 伸治

みんなの広場

剣道部・クラブ紹介

金津中学校剣道部

あわら市金津中学校男女剣道部は、三年生三名、二年生二名、一年生六名の合計11名で活動しています。小学校から剣道が続いている人や中学生になって初めて竹刀を持った人など、剣道の経験年数はそれぞれ違いますが、一人ひとりが一生懸命日々稽古に励んでいます。

稽古は、火曜日から木曜日の放課後と、土曜日または日曜日の午前中にB&G体育館で行っています。さらに、水曜日と金曜日は金津少年剣道教室があるので、積極的に参加している生徒もいます。内容は、基本から初めて、応じ技、かかり稽古など、限られた時間の中で集中して取り組んでいます。一年生が入部したことで、今年の夏の大会は、男女とも団体戦に出場することが出来ます。一つでも勝利をつかめるよう、練成会や様々な大会に参加して自分たちの技を磨いています。また、他校の選手と試合したり先生方に稽古



をつけてもらったりすることで、新たな課題を見つけたり、自分の強みを見つけたりして、日ごろの稽古に生かしていこうとしています。

これからもご指導いただき先生方、保護者の方、地域の方に感謝の気持ちを忘れず努力します。よろしくお願いたします。

(刀根 幸乃)

剣道 称号段位合格者

剣道段位審査会

令和元年五月十二日(日)
於 福井県立武道館

「初段」 四十二名

吉田 幸路 (高志中1年)	石川 新太郎 (大東中2年)	森谷 昊紀 (武生一中2年)	三崎 敬汰 (東陽中2年)	東龍 平 (大東中2年)	藤井 玲空 (松陵中2年)	飯田 礼埜 (中央中2年)	松井 秀憲 (高志中2年)	北嶋 和志 (森田中2年)	菅 優人 (武生一中2年)	杉岡 嵩貴 (栗野中2年)	伊藤 朋哉 (高志中2年)	土田 朋徳 (藤島中3年)	金 元士 (春江中3年)	辻 陽生 (気比中3年)	山 蔵人 (藤島中3年)	土田 虹登 (東陽中3年)	高橋 歩 (藤島中3年)	布目 大介 (団体職員)	福岡 孝広 (会社員)	野村 梨珠 (森田中2年)	矢田 桃子 (角鹿中2年)	笠松 真緒 (足羽一中2年)	山口 真央 (勝山中2年)	山下 真友 (明倫中2年)
---------------	----------------	----------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	--------------	--------------	---------------	--------------	--------------	-------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------

「二段」 三十三名

高木 心那 (武生一中2年)	楠 心望 (足羽一中2年)	田 心菜 (和泉中2年)	萩原 みな美 (武生一中2年)	南部 暖乃 (春江中2年)	鶴見 美月 (森田中2年)	柴田 鈴音 (武生一中2年)	高島 七実 (足羽一中2年)	森田 ころ (森田中2年)	山本 楓花 (藤島中3年)	村上 真菜 (足羽一中2年)	出藏 琴音 (藤島中3年)	佐々木 美奈 (朝日中3年)	岡田 優里 (春江中3年)	松井 愛花 (科技高3年)	泉 順子 (会社員)	宮下 幸子 (会社員)	江藤 稜太 (成和中3年)	田中 悟史 (丸岡中3年)	富田 寛文 (森田中3年)	柏崎 雅己 (東陽中3年)	古市 直大 (森田中3年)	井上 皓太 (武生一中3年)	南部 鷹太郎 (大東中3年)	北出 一護 (丸岡中3年)	高津 悠輔 (森田中3年)	山田 智稀 (武生一中3年)	北川 航太 (明倫中3年)	中野 太耀 (三国中3年)	廣瀬 瑛大 (松岡中3年)	新居 真海 (金津中3年)	伊藤 圭佑 (北陸中3年)
----------------	---------------	--------------	-----------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	----------------	---------------	---------------	------------	-------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------	----------------	---------------	---------------	----------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------

雁瀬	船田	酒井	竹原	吉江	小林	中村	浅野	岡田	中瀬	河端	水野	飯野	西澤	山田	高橋	永棹	吉田	川原	吉川	森川	上口	藤井	桑野	勝見	三ツツ	松永	高倉	長谷川	金谷	諸木	西山
昌	勇	功	貴	一	龍	之	侑	堅	敬	太	人	朋	莉	紀	泉	希	美	実	葉	乃	陽	奏	裕	嘉	友	直	真	匠	悟	幸	
豊	平	輔	貴	史	心	介	太郎	斗	諒	太	人	希	子	生	希	音	優	咲	乃	菜	香	己	友	也	陸	志	悟	介	佑		
(会)	(会)	(藤)	(北)	(丸)	(藤)	(敦)	(丸)	(北)	(丸)	(北)	(北)	(北)	(福)	(福)	(金)	(松)	(足)	(足)	(和)	(森)	(武)	(福)	(福)	(福)	(羽)	(北)	(羽)	(福)	(中)		
社	社	島)	陸)	岡)	島)	賀)	岡)	陸)	岡)	陸)	陸)	陸)	井)	井)	津)	岡)	羽)	羽)	泉)	田)	生)	井)	井)	井)	水)	陸)	水)	井)	中)		
員	員	高)	中)	大)	大)	大)	高)	高)	高)	高)	高)	年)																			

「参段」二十名

剣道六段	北島弘治	(坂井)
剣道六段	八幡喜己	(福井)
剣道六段	竹原康裕	(勝山)
剣道六段	志尾武章	(坂井)
剣道七段	前田浩由	(福井)
剣道七段	平井劍次	(坂井)
剣道七段	山田昭榮	(越前)
剣道七段	寺崎稔	(坂井)
剣道七段	寺崎稔	(坂井)
剣道七段	新井洋子	(福井)
剣道七段	村田浩二	(福井)
剣道七段	角野弘	(敦賀)
剣道七段	村中利彦	(福井)
剣道七段	中野宗昭	(敦賀)
剣道七段	前田俊裕	(坂井)
剣道七段	大辻大	(敦賀)

称号・六段以上合格者

「四段」四名	八幡明依	(福井工大3年)
「四段」四名	西山直杜	(福井工大講師)
「四段」四名	川井昌之	(大学職員)
「四段」四名	水上憲二	(会社員)
「五段」二名	嶋崎さおり	(法人職員)
「五段」二名	徳本英基	(会社員)

ペンリレー

女性剣士の部屋

大飯地区剣道連盟 常盤 真依子

私は小学生の頃から剣道を始めました。身の周りの人に勧められた訳ではなく、「楽しそうだからやってみよう」という安易な理由だけで始めました。始めたばかりのときは、試合にも勝てず稽古も厳しかったので、やめてしまいたいと思うこともありましたが、しかし、先生方の教えに耳を傾け稽古を重ねると試合で勝つことができるようになりました。

その後も中学、高校と私は剣道を続けました。中学の頃から、自分と同じ年代の人だけで稽古をしてきたので、自然と部員との結束を固めることができました。団体戦では、チームの仲間の応援が試合中の自分の耳に入ってきて、「一人じゃなくチームのみんなで戦っているんだ。」と感じることができました。主将としてチーム全員をまとめなければいけないというプレッシャーの中でも、仲間がサポートしてくれたから、楽しく稽古をすることができました。剣道を始めていなければ、今関わっている剣道の先生方、先輩や後輩に出会えていなかったのですから、「あのとぎ剣道を始めてよかった」と改めて思いました。

現在私は、子供達に指導をする側の立場になりました。剣道の競技人口が少なくなっている中で、興味を持ってくれた子供達に少しでも「剣道って楽しいな」と思ってもらえるような指導をしていけたら嬉しいです。私が学生のときに学んだ、「団結することの大切さ」や「諦めずに続けることが大事だということ」を、いつか子供達にも感じてもらえるようにサポートしていきたいと思っています。

今回、お通杯に参加させてください。身の周りの人に勧められたことを大変うれしく思います。自分の力を全て出し、悔いの残らない試合にしたいと思います。お通杯後も、精進して自分を磨き続けたいと思います。



【福井県剣道連盟事務局に質問などをお寄せください】

宛先 福井県剣道連盟 〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18 サンライズ二の宮1-B
 メールアドレス fkikendo@herb.ocn.ne.jp TEL・FAX(0776)28-6616